



和太鼓とマリンバによる独創的なアンサンブルで注目を集める打楽器グループ「GONNA」と
徳島の伝統芸能・阿波踊りを牽引する名門連「阿呆連(あほうれん)」がこの地で夢の共演
躍動するリズム、しなやかな舞、熱を帯びた音の波——
異なる伝統が響きあい、新たな表現が生まれる特別コラボレーション
打って、踊って、響きあう—— ジャンルを越えた魂の共鳴を、ぜひ中川文化小劇場で体感してください



和太鼓×マリンバ GONNA(ガナ)

2003年、名古屋で結成。ワールドミュージックとしての和太鼓を追及して、マリンバとのアンサンブルという独特のスタイルに至る。和太鼓の波にマリンバの響きが乗り、マリンバのメロディーに和太鼓がアクセントをつける。多様な打楽器群が響きあうサウンド、確かなテクニックから紡ぎだされるアンサンブルは、他の打楽器集団の追従を許さない。

GONNAの演奏スタイルは自在である。千席を越える大ホールでのコンサートから、カフェや寺院などの小スペースでのライブまで、楽器構成と演出でシチュエーションに応じた演奏を展開する。

GONNAはカテゴライズされない自由な音楽を持っている。音圧を生かした和太鼓の曲、グルービーなリズムのオリジナル曲、それにクラシック系譜の現代作曲家の作品とまでレパートリーを持ち、和太鼓ファンに限らず、幅広い音楽ファンの注目を集めている。

阿呆連(あほうれん)

阿呆連は昭和23年、敗戦により焼土とした阿波徳島の地に、元の様な平和で豊かな心を取り戻そうと焼跡に雑草の芽が出るかの如く結成。

肩に染め抜かれた“破れ傘”のデザインは結成当時と変わらず、先人たちが築き上げ引き継いできた阿呆連のシンボルとなっている。

ほっかむりをして提灯を持ち、阿波武士の心を躍る勇壮な男踊り。

差し足の技法を用い、美しさを兼ね備え、次々と形を変えてゆく集団美の女踊り。

今では、阿波踊り三大主流の一角「阿呆調」と称され、鳴り物の礎となる「正調阿波ぞめき」を築き上げた達人たちとともに数々の歴史に名を刻み、その時代時代に合った阿波おどりを創り上げている。



チケット取り扱い

【発売日】10月24日(金)9:00~

- ◆ 中川文化小劇場 TEL.052-369-1845
[火~金 9:00~20:00 / 土日祝 9:00~17:00 / 月曜休館]
- ◆ 名古屋市文化振興事業団チケットガイド TEL.052-249-9387
[月~金 9:00~17:00 / 土日祝休]
- ◆ 名古屋市文化振興事業団の管理施設窓口
- ◆ 電子チケット       

名古屋市中川文化小劇場

名古屋市中川区吉良町 178-3

ACCESS

- 名古屋駅より、あおなみ線「荒子」下車 南へ徒歩1分
- 地下鉄東山線「高畑」下車4番出口より東へ徒歩10分
- 市バス「荒子駅」下車 南へ徒歩1分(金山22号系統)
- 市バス「荒子観音」下車 北へ徒歩3分(金山21号系統)
- ◇駐車場 1回300円

劇場ウェブサイト 

